

学校法人吉備学園と学校法人岡山瀬戸内学園の 包括連携協定締結式



2022年8月4日(木)、学校法人吉備学園(岡山商科大学、岡山商科大学附属高等学校、岡山商科大学専門学校)は、学校法人岡山瀬戸内学園(倉敷高等学校)との間に、包括連携協定を締結しました。

本学は、これまで2007年に協定を結んだ岡山市立岡山後楽館高等学校の他、本学附属高等学校(2008)、県立津山商業高等学校(2012)、県立和気閑谷高等学校(2019)、倉敷翠松高等学校(2022)と包括協定を締結し、専門知識の提供、課外活動での協力及び講座の提供による人材育成等を行ってきました。

倉敷高等学校は、「3+4」学習メソッドを提唱し、大学や専門学校との連携により、3年間の学びにとどまらず、その先の大学での4年間で視野に入れた学習機会を提供しています。この度の協定締結により、岡山商科大学での学修の機会を新たに提供するとともに、グローバル人材の育成、指導者の派遣及び交流及び教育施設の利用等でも協力を行っていく予定です。

協定締結式では、井尻昭夫理事長・学長から「文部科学省は高大連携による、円滑な教育の接続を勧めている。「3+4」というメソッドを導入されている倉敷高等学校の取り組みは素晴らしいものがある。岡山の私学が力を合わせて新しい教育を推進していきたい」と挨拶がありました。岡山瀬戸内学園の本原康彦理事長からは「ローマは一日にして成らず」という言葉があるが、地元岡山での教育が担う人材育成により、ローマを作り上げたような、人が自ら持つ潜在能力を引き出していきたい」とのご挨拶がありました。(総務企画課)

CONTENTS

<商大トピック>

- 「『楽しい学生生活を過ごそう』の企画について」
- 学会学術講演会「何が起こるか分からない人生を、愉しみ切り拓く。」
- 科学研究費助成事業への取り組み

<情報アラカルト>

- クラブ活動・主な成績
- 目指せ警察官!「オープンポリス」に参加して
- 創立60周年記念事業「岡山商科大学躍進募金」について

商大トピック

Topic 4

大学生災害ボランティア研修会に参加しました!!

2022.4.27.5.18

第1回 令和4年4月27日

テーマ:「災害への備え」

講師:日本赤十字社岡山県支部

事業推進課課長 土居 正明

第2回 令和4年5月18日

テーマ:「災害ボランティア入門編」

講師:岡山県社会福祉協議会地域支援部

地域支援班主事 濱田 美沙子

南海トラフやゲリラ豪雨など災害リスクが高まっている中、大学生一人一人の防災意識の向上と被災者支援のノウハウを身に付けようという視点から実施



しました。この研修会は、一般学生及び教職コースの学生は全員参加ということで募集し75名の学生が参加しました。教職コースの学生は卒業後中学校や高等学校に勤務するようになれば、授業中、部活動中、遠征試合や修学旅行中何十人、何百人の生徒の命を守らなければならぬとなります。そういった危機感を持って研修会に臨みまし

た。研修会に入ってから、講師の先生から「いままですに災害ボランティア活動に参加したことがありますか?」の質問がされ「参加したことがある」は12%、「参加したことがない」が88%の数字にショックを受けました。さっそくここに本学の教育課題を見つけることができました。2日間の研修会を終えた最後のアンケートの「研修会を通じて、災害ボランティア活動に参加してみようと思いましたが?」では、「ぜひ参加したい」38%と「参加してもよい」42%で併せて80%になっており研修会の成果はあったと思えました。困っている方がいたらさっさと、チーム商大でお手伝いさせていただきますと思います。

(経営学部 教授 吉田 信(学生部長))

Topic 5

中国文化プログラム 津山商業高等学校

2022.5.21~8.5

2013年にスタートをした津山商業高等学校との中国文化プログラムも皆様のおかげで10年目を迎えることが出来ました。近年コロナ禍により中止していた対面での交流会でしたが、今年度は、5月21日(土)に同校を訪問し、中国では端午節に食される粽(ちまき)の歴史の説明をしたり、中国結びをつくるなど、3年ぶりに対面で行うことが出来ました(粽づくり体験は感染対策のため行わず、市販のものをお届けしました)。翌週からの中国語講座は、Zoomを用いて前半4週を韓雲冬准教授、後半4週を黎曉妮教授が担当しました。受講した生徒たちは、最初こそは緊張し発音に苦戦していましたが、講座を重ねるにつれて緊張もほぐれ楽しく学んでいました。講座中、用事があり途中で帰宅する仲間に対して、自然と「再見!(またね)」と中国語で挨拶をするなど、受講する高校生はすぐに学んだことを実践していました。8月5日(金)に無事最終講を迎えることができ、受講生たちは、中国語で名前や好きな事、家族構成などを紹介できるようになりました。高校生が他国の文化に触れる機会として、次年度も継続してご提供してきたいと思えます。

(産学官連携センター)

Topic 6

手形交換所の見学について

2022.6.1

2022年6月1日(水)に岡山手形交換所に見学に行ってきました。岡山手形交換所は、日本銀行岡山支店や中国銀行本店の近くの一般社団法人岡山銀行協会の中にあります。手形交換所というのは、手形や小切手につき、毎日、各金融機関が一室に集まり、これらと交換する場所です。岡山県内には、現在、1か所ですが、平成14年までは24か所ありました。全国ベースでは、現在、107か所あるそうです。

今年11月には、全国の手形交換所が、電子化するとともに、1か所に統合されるということで、見学に行ってきました。手形交換は、毎朝9時過ぎには始まるので、参加者は8時半に岡山銀行協会の前に集合しました。

参加者は、教員2名(中山先生、吉岡)と学生3名、合計5名でした。当日は、月末明けということもあり、手形・小切手の交換枚数は比較的少なかったようですが、それでも枚数で740枚、金額で約21億円という金額が10分ほどの間に決済される現場を目の前で見学することができました。ちなみに、月末には1日で100億円を超えるそうです。見学の後、交換所の方から、手形交換所の仕組み、及び11月に設立される電子交換所のこと等につきレクチャーいただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。

(法学部 教授 吉岡伸一)

Topic 7

北房・里山里海交流館「しんぴお」落成式典

2022.6.5

本学と包括連携協定を結んでいる真庭市北房観光協会は、2022年6月5日に「里山里海交流館しんぴお」の開所式を行いました。この施設は



日本財団による自然保護活動の拠点を整備する「渚の交番プロジェクト」として採択を受けた事業の一環で、「里山真庭から里海を守る」をテーマに、北房で長年続けられてきたホテル保護活動他を訪れた人たちに学習してもらおう施設です。多目的ホールには270度のVR映像が体感できるプロジェクトが導入され、北房のホテルや鍾乳洞、古墳などの魅力とともに、500万年前の古代から現代までの「人と自然の共生」を、神秘的な映像で学ぶことができます。また同施設は、古民家レストラン「ほたる庵」や地元酒蔵落酒造と隣接しており、単に学習体験を目的とするだけではなく、観光も楽しめるようになっています。開所式は学生5名も参加し、会場設営を手伝いました。式典には、真庭市太田市長、2021年一足先に渚の交番「ひなせうみらボ」を開設した備前市吉村市長他関係者が多数臨席し、地元の子供たちによるホテルミュージカルダンスも元気に披露され、盛大な式に花が添えられました。会場では、ひなせうみらボ職員や地元のカフェの店主、本学卒業生・橋高真庭市地域おこし協力隊員などがブースを設け、商品の販売も行っていました。本学はこれまで同様、学生を中心とした観光協会との連携事業を推進していく予定で、現在同地区への集客を促すイベント商品を企画中です。

(経営学部 教授 三好 宏)

Topic 1

2021年度学位記授与式

2022.3.22

2021年度は、昨年度に引き続き、感染対策を実施して学位記授与式を挙行いたしました。

2022年3月22日(火)、会場となる体育館には、卒業生約400名と役職教員と在校生が出席し、式は挙行されました。この日を心待ちにしていた保護者や、コロナ禍の影響で出席できない卒業生のために、オンラインによるリアルタイム配信を行い、式の状況を伝えました。

(総務企画課)

Topic 2

2022年度 入学宣誓式

2022.4.3

2022年4月3日(日)本学体育館において入学宣誓式が挙行されました。コロナ禍の中ではありますが、感染対策を行い、新入生と役職教員、一部在校生のみ出席者を限定して式を挙行いたしました。オンラインによる同時配信も行い、保護者などへ状況を伝えました。井尻学長から入学の許可が宣言され、4799名の新入生を代表して、経営学科 山本 彪(県立津山商業高等学校出身)さんが入学を宣誓しました。

(総務企画課)

Topic 3

商大ワールドカフェについて

2022.4.10

2022年4月10日、経済学部では新入生を対象に商大ワールドカフェを開催しました。新型コロナウイルスの影響で中止となった新入生合宿に代わる、大学生生活の土台を作るための企画です。

ワールドカフェは議論の方法の一つであり、テーブルを移動しながら与えられたテーマについて自分の意見やアイデアを自由に話します。カフェのような気楽な雰囲気です。

今回のテーマは「大学でやりたいこと」「大学でやるべきこと」といった、これから始まる大学生活を有意義にしていくための目標や課題を出し合うものでした。出てくる意見は人それぞれ違いますが、他の意見を否定するのではなく深め合うような議論ができている場面も多くありました。

今回の企画を通じて、新入生の皆さんは大学には本当に色々な人が集まっていると感じたことでしょうか。それぞれの個性と新しい友人を大切に、充実した4年間を過ごしていただけることを願っています。

(経済学部 講師 熊代和樹)

Topic 8

教職フィールドスタディ 「日本銀行岡山支店を見学しました」

2022.6.10

今回、教職科目「商業科教育法I」の授業でフィールドスタディとして、日本銀行岡山支店を見学させて頂きました。一番の印象は、日本銀行は一般の方にも身近な存在であるということが理解できました。日本銀行は銀行の銀行といわれ銀行だけと取引をしているイメージを持っていましたが、一般銀行への送金の仲介をはじめ、汚れたり破れたりした紙幣(日本銀行券)の交換、普段何気なく利用しているサービス、短観の発表等さまざまな対応をされていることなどを知ることができました。



今回は日本銀行にお邪魔しましたが、まだまだ知らないことがたくさんあり、自分の知識不足を痛感させられました。これからは日々の生活の中で起こっていることを学習と結びつけるため視野をもっと広げ、一つでも多くの知識を身に付けてから教育実習や教員採用試験に臨まなければならないということを変えて考えるきっかけにもなりました。これからは、普段の生活で何気なくしていることなどにも意識を向け、学んだことをつなげる訓練をしていくことが必要だと思いました。周りをよく見て行動をして、自信を持った状態で、知っている、教えることができる、ということをもっと増やしていきたいと思いました。

(経営学部 商学科 3年 藤井結衣)

Topic 9

「『楽しい学生生活を過ごそう』の企画について」

2022.6.11~

ここ数年コロナ禍の影響もあり、課外活動や研修旅行ができなかった学生のために、学生課が中心となり研修旅行を行いました。まず第一弾として博物館研究会が中心となり、「倉敷文化の源流を求めて」を開催しました。多くの留学生も参加し、倉敷の歴史と文化を体感できた素晴らしいツアーになりました。

第二弾として「ファジアーノ岡山観戦ツアー」を開催しました。地元のプロチームを応援する目的で、多くの学生がファジアーノ岡山の試合を観戦しました。結果は強敵のFC琉球に1-0で勝利しました。スーパープレーも多く、学生たちも大興奮のツアーになりました。

第三弾は井倉洞と蕎麦打ち体験を行いました。第一弾に引き続き多くの留学生が参加しました。最初に蕎麦打ち体験を行いました。留学生の中には「蕎麦」という食べ物も知らない学生が多く、日本食の文化を知ってもらいたい機会になったと思います。蕎麦作りを終え、次は井倉洞に向かいました。全長1200mにもなる鍾乳洞の中はとてもしずかしく、暑い夏にはおすすめスポットです。

コロナ禍で外出を控え、大学生活を満喫できなかった日々を取り戻すをテーマに多くの研修旅行を開催してきました。この研修旅行で学生同士の交流が深まったり、岡山の魅力を再認識してもらった機会になればと思います。9月以降も研修旅行は引き続き開催予定なのでぜひ参加してもらいたいです。

(学生課)

Topic 10

学会学術講演会「何が起ころかわからない人生を、愉しみ切り拓く。」

2022.6.23

6月23日(木)、岡山商科大学学会主催・岡山商科大学同窓会協賛で、シブヘルスケアホールディングス株式会社の古川國久会長による講演「何が起ころかわからない人生を、愉しみ切り拓く。～至誠惻怛(せいじそくだん)と企業経営～」が行われました。「至誠惻怛」は山田方谷の言葉で、至誠とは「まごころ」、惻怛とは「いたみ悲しむ心」を意味します。密を避けるため、対面の主会場と3会場をオンラインでつなぐハイブリッド形式で開催されました。学生と教職員約300名に加えて、学外から50名を超える聴講者の参加がありました。



講演では、企業経営の基本姿勢の「至誠惻怛」についてのお話や、起業の際、SHIP (Sincere, Humanity, Innovation, PartnerSHIP)の理念が先にできたというお話の他、若い世代へ「目の前のことを一生懸命やること。自分を信じて、一点を極めて、最後までやり抜くことが大事」というメッセージをいただきました。参加者全員にご寄贈下さった『SHIP』に講演内容が詳しく紹介されています。

(岡山商科大学学会 松浦美佐子)

Topic 11

総社市インターンシップについて

2022.7.28~

本学では、これまで岡山県内10市町村と「連携に関する協定」を結び、学生のフィールドスタディ(現地学習)、地域活性化の研究や事業に取り組んできました。



総社市とは2020年度に包括協定を締結しており、その中でインターンシップに関することが定められており、3年目となる今年度は、公務員を目指す学生9名の応募がありました。受け入れ先は、事前に学生から希望のあった部署となっており、文化芸術課、市政情報課、都市計画課、企業誘致商工振興課など多岐にわたります。実施に当たり、2022年7月28日(木)に総社市役所に開講式が執り行われました。片岡聡一総社市長から「このインターンシップを通じて、楽しい、つらい、大変、いろいろな事を体験して大学の授業とは違う経験をして大きく成長してください」と激励の言葉がありました。本学から出席した三好宏産学官連携センター長からは、「市民の方々からは職員として見られている意識を持って社会人としての立ち振る舞いなどもしっかり身に付けて欲しい」との挨拶がありました。

今回の貴重な機会を実習生としてではなく総社市職員として全力で過ごしてほしいと思います。

(産学官連携センター)

Topic 12

科学研究費助成事業への取り組み

科学研究費助成事業(科研費)は、研究活動に必要な資金を研究者に助成するしくみの一つで

す。人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、他の研究者による審査を経て、独創的・先駆的な研究に対して助成を行います。本学からも毎年多数の研究者が申請を行っており、令和4年度は以下の研究課題で研究費の交付を受けています。

研究種目・期間	研究課題	研究者(所属)
基盤研究(B) 2018~ 2022	ビッグマイクロデータの匿名性評価手法の開発	佐井 至道 (研究分担者) (経済学部・教授)
基盤研究(C) 2019~ 2022	「新しい診療拒否」に関する学際的研究	宍戸 圭介 (研究代表者) (法学部・教授) 栗屋 剛 (研究分担者) (法学部・教授)
基盤研究(C) 2020~ 2022	20世紀初頭価値哲学の反自然主義—現代価値論の再考のために	九鬼 一人 (研究代表者) (法学部・教授)
基盤研究(C) 2020~ 2022	EU農政下における家族制農業生産についての民族誌的研究	杉本 敦 (研究代表者) (経営学部・准教授)
基盤研究(C) 2020~ 2022	長期停滞下における期待利潤率、生産性及び不確実性の相互依存関係—日独比較—	萩原 泰治 (研究代表者) (経済学部・教授)
若手研究 2020~ 2023	日本における量的・質的金融緩和と政策の実体経済に対する効果の検証	井尻 裕之 (研究代表者) (経済学部・准教授)
若手研究 2020~ 2023	消費者の誘惑と自制心を考慮した年金制度に関する研究	熊代 和樹 (研究代表者) (経済学部・講師)
若手研究 2020~ 2023	金融リテラシー教育に関するアンケート調査研究	渡辺 寛之 (研究代表者) (経済学部・講師)
基盤研究(C) 2021~ 2023	ナッジを活用した高齢者の労働供給に関する研究	國光 類 (研究代表者) (経済学部・准教授) 三谷 直紀 (研究分担者) (経済学部・特任教授) 熊代 和樹 (研究分担者) (経済学部・講師) 佐々木 昭洋 (研究分担者) (経済学部・講師)
基盤研究(C) 2021~ 2023	新型コロナウイルス感染症拡大下における、独居高齢者の孤立化に関する実証的研究	栗屋 剛 (研究代表者) (法学部・教授)
基盤研究(C) 2021~ 2024	非標準的治療等の選好の検討を通じた多文化にセンシティブなインタラクションの支援	宍戸 圭介 (研究代表者) (法学部・教授)
基盤研究(C) 2021~ 2024	デジタル社会に求められる職業会計士の役割、能力と今後の会計教育のあり方	吉良 友人 (研究代表者) (経営学部・准教授)
若手研究 2021~ 2025	植民地期ベトナム南部の米輸出の展開と地域内消費—アジア米貿易の動向に注目して—	池田 昌弘 (研究代表者) (経済学部・准教授)
基盤研究(C) 2022~ 2025	「現代における診療拒否の諸相」の解明を通じた医療提供及び患者支援に関する研究	宍戸 圭介 (研究代表者) (法学部・教授) 栗屋 剛 (研究分担者) (法学部・教授)
基盤研究(C) 2022~ 2025	日本のマクロ経済の長期停滞とゼロ金利政策に関するDSGEモデルによる包括的な分析	星野 聡志 (研究代表者) (経済学部・講師)
基盤研究(B) 2022~ 2025	電磁気現象の集束及び増幅に着目した渦電流探傷システムの開発	箕輪 弘嗣 (研究代表者) (経営学部・准教授)
基盤研究(B) 2022~ 2025	LGBTQ当事者の家族形成実現とライフプラン教育の社会実装への相互深化モデル形成	宍戸 圭介 (研究代表者) (法学部・教授) 栗屋 剛 (研究分担者) (法学部・教授)

(総務企画課)

保護者懇談会について

2022年9月3日(土)、本学は本学後援会と共催による行事を実施していますが、コロナ禍のため2019年度を最後に不開催とされていた保護者懇談会を、本年度は3年ぶりに開催することとしました。



時間差による個別懇談のみを実施することとし、すべての面談ブースに飛沫防止の衝立を設置するなど、感染対策を行っての開催となりました。必ずしも感染状況が落ち着いたとは言えない時期でしたが、県内外から241組、約400名の保護者の皆様にご参加いただき、約3時間にわたり熱心な懇談会が実施されました。(総務企画課)

第2回岡山商科大学動画コンテストについて

昨年度に引き続き、「第2回岡山商科大学動画コンテスト」を開催いたしました。

前回同様、テーマは本学のキャンパスライフに関するものであれば何でも応募可能とし、Zoomにて概要説明会や動画制作講義を行い、初心者であっても取組みに参加ができるよう周知しました。



広報室にて厳選な審査を行った結果、グランプリと奨励賞1作品ずつ受賞が決まりました。

9月12日に行われた表彰式では、受賞者からどのような思いで動画を制作したか、一言コメントをいただき、みんなで喜びを分かち合いました。

受賞した動画は岡山商科大学Youtubeチャンネルにて配信予定です。ぜひご覧ください。(広報室)

2022年度岡山経営者論について

岡山経営者論は、(一社)岡山経済同友会のご協力のもと、ボランティアプロフェッサーによる講義を1996年から行っています。

今年度前期は「広域展開している企業における「地域での金融・保険の役割」」をテーマに対面授業により、(株)広島銀行岡山支店・執行役員支店長・松原真児氏、(株)百十四銀行・地域創生部地域創生グループ調査役・長尾陽一郎氏、日本生命保険(相)岡山支社・支社長・開保津勝矢氏、明治安田生命保険(相)岡山支社・岡山支社長・小山宏之氏、東京海上日動火災保険(株)岡山支店・支店長・田辺健二氏、オリックス(株)岡山支店・岡山支店長・國井敦雄氏にご登壇いただきました。



外部環境の変化による経営の現況、銀行・保険・リースの役割と地域に根ざした活動の重要性や、登壇者の豊富な経験をもとに講義いただき、受講学生からも実学が学べる点から大変好評でした。後期も引き続き、全国や地域で活躍している方々にご登壇いただく予定です。

(経営学部長 西敏明)

「実践学習講座(ボランティア活動)」:日本語・日本文化勉強会

日本語・日本文化勉強会は、2021年度前期に純粋なボランティア活動として開始され、後期には集中講義「実践学習講座(ボランティア活動)」として正式に授業化されました。本学には多くの留学生が在学していますが、日本人との交流が少ないことも一因でしょうか、日本語力が伸び悩む学生を見かけます。そこで、日本語担当教員が中心となって立ち上げた交流の場が本勉強会です。

勉強会では日本語検定試験の勉強だけではなく、日本人学生ボランティアと留学生がおしゃべりやゲームをして過ごします。おしゃべりも、アニメや音楽など趣味の話もあれば、授業の相談など学生生活に係る内容もあります。ゲームは語彙力や表現力を伸ばすため日本語ゲームに特化しています。交流は学生主体ですが、4名の教員が交代で試験問題やゲームの準備をして活動をサポートしています。勉強会を契機に日本人と留学生の交流が教室の外へと広がっていくのを見るのは本当にうれしいことでした。

(経営学部 教授 松浦英佐子)

エッセー
数珠つなぎ

クラブ活動での合宿の思い出

法学部 教授 吉岡伸一

もう50年近く前のことになりますが、私は大学に入って2年間スピードスケート部に入っていました。スピードスケートといっても、大学が京都市内にあったことから、今でいうショートトラック(一周100mのトラック)で、当時はヘルメットをかぶらず、オリンピック種目でもありませんでした。また、京都インターカレッジという名の大学対抗戦がありましたが、参加した大学は4校のみという非常に人気のないスポーツでした。なぜそのようなクラブに入部したかという、高校時代には陸上競技で中長距離を走っていたのですが、なかなか思うようなタイム、成績を上げられませんでした。タイムは自分なりに伸ばすことができても、小学校、中学校から走っている仲間との差はなかなか縮まりませんでした。

そこで、大学に入ってクラブを選択するときには、高校時代まで人があまりやっていない競技を選択しようと考えていたところ、たまたまスピードスケート部の入部を勧誘するポスターが目に入り、入部することになりました。

入部してからはほぼ毎日京都市内のリンクで滑っていましたが、毎年、12月になると400mのリンクで3週間の合宿と対抗試合がありました。合宿は清里(キョウト)で2週間、伊香保温泉で1週間行っていたのですが、1年目の清里での早朝練習は今でも鮮明に覚えています。起床は5時半、6時に練習開始、10周(4000m)のアップ、その後休憩をはさんで1万メートルを2本。朝食後、10時から同じメニュー。午後は全体練習はせず、各自自由練習。

早朝練習は、先ほども言ったように、6時からリンクに上がります。冬の6時と言えば、まだ真っ暗で、リンクの周りのオレンジ灯だけが頼りの状態です。その中で400mトラックのホームストレートからは水星と金星(明けの明星)がキラキラと見えていたのです。他方、バックストレートでは、本来黒光りしている八ヶ岳が7時頃から太陽に照らされて赤に近いオレンジ色に輝きだすのです。太陽が上がりきると水星や金星は見えにくくなりますが、何周かの間は、両方の景色がつかれた腰の痛みを和らげてくれました。もちろん、片方の景色だけでも十分に癒やしになりましたが、2つの惑星と八ヶ岳のオレンジ色は今でもクッキリと頭の中に残っています。

キャリアセンター便り

2023年3月卒学生（現4年生）の就職活動状況

コロナ禍3年目となる2023年3月卒学生の就職活動は、企業の広報活動開始（3月）直前に岡山県がまん延防止等重点措置を適用したことにより、2月に学内で開催予定であった合同業界説明会が中止となるなど、先行きが見えず不安なスタートとなりました。しかし、企業が実施するインターンシップが活発化したことで、早期に就職活動を開始した学生が増えたことや、コロナ後の景気回復を見込んで企業が採用数を増やす動きとなったことで、5月末の就職内定率は41.7%と昨年同時期（42.5%）に近い数字となりました。

昨年度の状況と比べて感じたことは、多くの企業がオンライン採用からハイブリッドもしくは対面採用に切り替えたことにより、コロナ禍の2年間よりも慎重な採用活動が行われたのではないかと思います。企業はインターンシップを活用して早期選考を積極的に実

施していましたが、最初の内定出しの時期は例年とほぼ同様であり、学生からは選考期間が長かったなどの報告がありました。また、今年は例年に比べ最終選考で不合格となるケースが多かったように思われました。

今年からは学生と企業との接触機会を増やすために、企業にご協力いただき学内での単独企業説明会をほぼ毎日実施しています。これと並行して、行動量の少ない学生には求人企業を積極的に提供しています。キャリアセンターは、学生を就活レールに乗せて、優しく背中を押してあげることが大切だと考えています。こうした取り組みにより、8月末の内定率は74.7%と昨年同時期（73.8%）を若干上回っています。

2024年3月卒学生（現3年生）の動き

企業が実施するインターンシップに学生ができるだけ参加するように、8月上旬に学内合同インターンシップ説明会を3日間に渡って開催しました。新型コロナウイルスの感染者が日に日に増加した時期でありましたが、十分な感染予防対策を講じた上で実施し、延べ79名の学生が参加してくれました。当日のアンケートでは、学生・企業共に「満足できた」という回答が大多数であり、充実した説明会で

あったと感じています。この説明会をきっかけに企業のインターンシップに積極的に参加して、業界研究や企業研究に活かしてほしいと思います。後期からは自己分析・履歴書・面接をキーワードとした就職ガイダンス、企業の方々を招いての業界研究セミナー、各種講座等を開催し、これからの就職活動の準備に努めたいと考えています。

<主な就職支援行事予定>

2022年9月28日(水)	第2回就職ガイダンス 「自分だけの本当の自己PRを手に入れよう!」
2022年10月19日(水)	業界研究セミナー① 各業界の人事担当者の方々との座談会
2022年10月26日(水)	業界研究セミナー② 各業界の人事担当者の方々との座談会
2022年11月9日(水)	第3回就職ガイダンス 「エントリーシート&履歴書の書き方」
2022年11月16日(水)	第4回就職ガイダンス 「個人面接&グループディスカッション」
2022年11月30日(水)	ヘアスタイル&メイク講座 「ヘア&メイクで内定率アップ!」
2022年12月7日(水)	リクルートスーツ講座 「リクルートスーツの着こなし方」
2022年12月14日(水)	第5回就職ガイダンス 「就活前に知っておきたいSPIの基礎知識」
2023年1月11日(水)	第6回就職ガイダンス 「3月就活解禁までに(春休み中に)やるべきこと!」
2023年1月27日(金) 1月30日(月)	短期集中SPI対策講座 「SPIなんて怖くない!」
2023年2月22日(水)	第7回就職ガイダンス 「3月1日就活スタート!就活サイトのプレエントリーをしてみよう!」

3年ぶりにFPコース・キッズマネー教室開催

2022.6.12

大学コンソーシアム岡山主催の「日ようび子ども大学」が6月12日(日)に3年ぶりに開催され、本年度も経営学部商学科のFPコース生が「キッズマネー教室」を行いました。FPコースの伝統行事となっている当プログラムは、小学生がゲーム感覚で「目標に向けたおこづかいの貯め方、使い方」の学習体験ができるよう、金融リテラシーマップに基づき学生が主体となってシナリオを考案し、運営する小学生向けの金融リテラシー教育プログラムです。

本年度は、FPコース1・2・4年次生14名が参加しての開催となりました。使用する「おもちゃのお札」等のツールについては、消毒しながら使用できるように全てをラミネート加工したカードに変更するなど、新型コロナ感染症対策の工夫を凝らしました。

本年度の「日ようび子ども大学」はコロナ禍により、参加者を従来の10分の1以下に抑えての開催となりましたが、本プログラムへの参加は予想をはるかに上回る数でした。自ら率先して参加してくれた児童も多く、保護者からも「普段はなかなか教えられないお金の貯め

方・使い方について学べて良かった」との感想をいただき、小学生に向けた金融リテラシー実践教育の重要性をあらためて実感しました。過去2年間が中止であったため、在学生で唯一経験している

4年生が参加して指導してくれたことで、伝統行事がきちんと継承されたことは大変喜ばしいことです。これからも当プログラムが発展・承継していくことを期待します。

(経営学部 教授 海宝賢一郎(商学科ファイナンシャルプランニングコース))



クラブ活動・主な成績

コロナ禍により、2年間ほどクラブ活動は大会の中止や規模の縮小を余儀なくされてきましたが、最近では、感染症対策を行いながらの大会運営が円滑に行われるようになり、学生の活躍の報も以前のように聞こえてくるようになりました。令和4年度上半期のクラブ活動での主な成績をご紹介します。

□卓球部：第73回中国学生卓球選手権春季大会

第73回中国学生卓球選手権春季大会が5月5日から8日に広島県エプピコアリーナで開催されました。新入生は岡山商科大学として出場する初めての大会でした。大会初日と2日目は団体戦が行われました。結果は男子優勝、女子準優勝でした。男子は2連覇を達成し、女子は去年よりも順位を上げることができました。大会3日目はダブルスが行われました。男子は優勝、準優勝に2ペア、女子は優勝し、男女アベック優勝を果たしました。大会最終日はシングルスが行われました。男子は最高ベスト8に終わりましたが、女子は1位から3位を独占することができました。今回の春季大会では、6種目中4種目優勝を成し遂げることができ、チームとして収穫の多い大会になりました。この大会の結果により全国大会の出場が決定しました。今回の大会での反省点を生かし、全国大会で上位進出を目指したいと思います。(学生課)

□剣道部：第70回全日本学生剣道選手権大会

全国から、各地区予選会を勝ち抜いた精鋭の男子学生剣士176名が、学生日本一を目指し3年ぶりに剣道の聖地「日本武道館」に結集いたしました。

前回69回大会では、優勝候補を破り大健闘した佐藤太一さんがベスト32まで勝ち上がっております。今大会には本学から、中四国学生剣道連盟代表として、法学部4年 剣道部主将の大橋拓真さんが出場いたしました。大健闘の末、3回戦で筑波大学の原田 光選手に延長の末惜しくも敗退いたしました。

コロナ禍により多くの大会が中止となっておりますが、待望のしかも学生剣士にとっては最高の檜舞台で期待に応えた活躍をしてくれました。

本大会開催に当たり、大会実施に向けてご尽力を頂いた全日本学生剣道連盟をはじめ各地区の学生剣道連盟の多くの方々へ深く感謝を申し上げます。(学生課)



□ゴルフ部：第41回中四国学生ゴルフ連盟会長杯争奪戦

第41回中四国学生ゴルフ連盟会長杯争奪戦が、愛媛県松山市の北条カントリー倶楽部で開催されました。大会初日は風も強く思うようなプレーをすることができませんでした。しかし諦めず粘り強くプレーすることを意識し、大会2日目につなげることができました。

大会2日目は前日の修正点を生かしプレーすることを心掛けました。その結果、女子の部で4年生の選手が準優勝することができました。そのほかにも女子の部では、8位以内に3名が入賞することができました。惜しくも男子の部では入賞者はいませんでした。ほとんどの選手が3年生なので、来年の大会で今回の記録を上回れるように努力したいと思います。今回の中四国学生ゴルフ大会では、チームとして収穫もありましたが、反省点も多い大会となりました。反省点を改善しながら、今後の大会に向けてより一層努力していきたいと思っております。(学生課)

□柔道部：2022年度中国四国学生柔道優勝大会

5月21日、22日に麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター（山口県周南市）にて、2022年度中国四国学生柔道優勝大会が開催されました。本大会は中国四国地区の大学1位を決める団体戦です。男子は体重区分が無差別の7人対抗、女子は体重別の5人対抗で戦います。2020年度からコロナ禍により中止となり、3年ぶりに開催されました。男子の上位4校、女子5校が6月25日、26日に日本武道館で開催の2022年度全日本学生柔道優勝大会への出場権を獲得します。

各大学が久々の団体戦で、大会が開催されなかった先輩たちの想いもあり、白熱した戦いが繰り広げられました。結果は、様々なプレッシャーもあったかと思いますが、おかげ様で男子は前回に引き続いての優勝で2連覇を果たしました。これで、通算21回目の優勝となりました。そして、女子は前回に引き続き準優勝となりました。男女とも精一杯力を尽くしたと思っております。ご声援ありがとうございました。(法学部 講師 菊川 顕 (柔道部顧問))

□陸上競技部：中四国学生陸上競技対校選手権大会

日頃より岡山商科大学陸上競技部の活動に深いご理解と、多くのご支援をいただき感謝申し上げます。さて、2022年の6月に行われた中四国学生陸上競技対校選手権男子100mにて、主将の林頼人さん（法学科4年、松江工高）が優勝しました。陸上競技の花形種目である100mでの優勝は、創部以来初のことです。中四国にその名を轟かせるとともに、日本学生陸上競技対校選手権の出場権も獲得しました。入学以来ケガに悩まされ、思うように競技が出来ませんでしたが、その中で先輩やチームメイトの活躍に刺激を受け、仲間とともに日々努力を行って来ました。弱点であったスタートダッシュの改善や筋力トレーニング、身体の可動域を広げるトレーニングなど、科学的根拠を基に行い、日々のトレーニングで得意の後半局面にさらに磨きがかかり、絶好調で今シーズンを迎えました。林さんにとって地元島根で開催された中四国学生陸上競技対校選手権。予選、準決勝と順当に1着で通過し、大一番の決勝。改善されたスタートが見事に決まり、磨きのかかった後半局面は誰も追いつけることなく、そのまま1着でゴール。両親、チームメンバー、スタッフ一同歓喜の優勝でした。この結果に満足することなく、感謝、謙虚な気持ちを忘れず今後も挑戦を続けて行きます。(学生課)

□弓道部：第66回西日本学生弓道選手権大会

弓道部は5月28日から29日に岡山市にあるジップアリーナ岡山で開催された第66回西日本学生弓道選手権大会に出場しました。令和4年度になり2大会目となった本大会は、中四国地区、九州地区の大学が出場する大会となります。4月に開催された中国大会では男子団体戦で優勝、女子団体戦で準優勝を収めることができました。中国地区だけでなく、四国、九州地区の強豪大学を相手にどこまで自分たちの力が通用するか非常に楽しみな大会でもありました。

選手の調子自体は決して良いわけではありましたが、選手一人ひとりが自分の役割を理解し、粘り強く試合に臨むことが出来ました。その結果、女子団体戦で準優勝と最優秀射手賞、男子団体戦で5位という結果を納めることができ、自信につながる大会になりました。

コロナ禍においても変わらず活動できる現在の状況に感謝し、選手一同頑張っていきます。

(学生課)

人事異動

(2021年10月～2022年9月現在)

種別	役職等	氏名	所属	日付
退職	事務職員	松本聖一郎	会計課	12月31日
退職	特別顧問	大崎紘一	経営学部経営学科	3月31日
退職	特任教授	有利隆一	経済学部経済学科	3月31日
退職	特任教授	西浦 公	法学部法学科	3月31日
退職	特任教授	天野雅敏	経営学部商学科	3月31日
退職	准教授	埜村紳二	法学部法学科	3月31日
退職	准教授	坂巻綾望	法学部法学科	3月31日
退職	事務職員	王 甲	学生課	3月31日
称号授与	名誉教授	大崎紘一	岡山商科大学	4月1日
称号授与	名誉教授	西浦 公	岡山商科大学	4月1日
採用	大学院特任教授	水野忠恒	大学院法学研究科	4月1日
採用	教授	太田佳光	経営学部経営学科	4月1日
採用	教授	萩原泰治	経済学部経済学科	4月1日
採用	講師	川井敏之	経営学部経営学科	4月1日
採用	講師	藤本宏美	経営学部経営学科	4月1日
採用	嘱託職員	秋山大祐	教務課	4月1日
採用	嘱託職員	金光航平	学生課	4月1日
昇任	准教授	池田昌弘	経済学部経済学科	4月1日

種別	役職等	氏名	所属	日付
昇任	講師	菊川 颯	法学部法学科	4月1日
昇任	次長	荻野素也	事務局	4月1日
昇任	課長	岡部泰正	入試課	4月1日
昇任	参事	遠藤みゆき	教務課	4月1日
昇任異動	課長補佐	武田晴義	入試課	4月1日
昇任	係長	韓 壮	入試課	4月1日
昇任	主任	永岡 大	学生課	4月1日
異動	課長	伍賀千恵	教務課	4月1日
異動	参事	佐藤敏昭	総務企画課	4月1日
異動	課長補佐	面手昌樹	学生課	4月1日
異動	事務職員	赤木貴人	学生課	4月1日
異動	事務職員	山縣玲子	教務課	4月1日
異動	事務職員	牧 哲也	総務企画課	4月1日
新任	経済学部長・ 経済学科長	田中勝次	経済学部経済学科	4月1日
新任	経済学研究科長	田中勝次	大学院経済学研究科	4月1日
新任	キャリアセンター長	安井 聡	キャリアセンター	4月1日

(総務企画課)

令和3年度決算(岡山商科大学)

資金収支内訳表 (単位:千円)

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	1,939,497
手数料収入	26,421
寄付金収入	12,193
補助金収入	378,095
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	10,144
受取利息・配当金収入	3
雑収入	112,370
借入金収入	0
収入の部合計	2,478,723
支出の部	
科目	金額
人件費支出	1,125,834
教育研究経費支出	660,964
管理経費支出	140,144
借入金等利息支出	459
借入金等返済支出	25,800
施設関係支出	101,206
設備関係支出	44,896
支出の部合計	2,099,303

事業活動収支内訳表 (単位:千円)

科目		金額	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,939,497
		手数料	26,421
		寄付金	12,193
		経常費等補助金	351,735
		付随事業収入	10,144
		雑収入	112,377
	教育活動収入計	2,452,367	
	支出	人件費	1,123,709
		教育研究経費	844,580
		管理経費	191,311
徴収不能額等		0	
教育活動支出計	2,159,600		
教育活動収支差額	292,767		
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	3
		その他の教育活動外収入	1
	支出	教育活動外収入計	4
		借入金等利息	459
		その他の教育活動外支出	6
教育活動外支出計	465		
教育活動外収支差額	△ 461		
経常収支差額	292,306		
特別収支	収入	資産売却差額	0
		その他の特別収入	28,636
		特別収入計	28,636
	支出	資産処分差額	26,833
		その他の特別支出	0
特別支出計	26,833		
特別収支差額	1,803		
基本金組入前当年度収支差額	294,109		
基本金組入額合計	△ 116,241		
当年度収支差額	177,868		
(参考)			
事業活動収入計	2,481,007		
事業活動支出計	2,186,898		

誌面の都合により千円未満の単位を省略しています。

目指せ警察官!『オープンポリス』に参加して

2022.7.6

2022年7月6日、本学にて現職警察官の方々をお招きし、普段体験できない護身術や鑑識体験、パトカーや白バイの乗車が体験できる「オープンポリス」が開催されました。

警察官志望の学生や、興味のある各学部の学生が多数参加し、貴重な講義を受講いたしました。開始に先立ち本学OB現警察官の方からご挨拶があり、各部署の勤務内容、一日のタイムスケジュールなどの講義を受け、その後各ブースに分かれ実際に警察官が行う職務を体験させて頂きました。

護身術や鑑識体験のブースでは、刑事ドラマさながらの体験ができ、参加学生は目を輝かせながら説明に聞き入っていました。

空き時間に警察官の方が「我々の一番の責務は県民の安全安心を守ることです」と学生に言われていた何気ない一言は、私の中で非常に印象に残っています。

本学で四年間共に過ごした学生たちが、卒業後警察官となり、全国各地で私たちの暮らしを守ってくれる、こんな幸せなことはないですね。

最後まで熱心に講義を受ける学生たちに、一人でも多く自身の夢を叶えてもらいたいと思いました。(学生課)



創立60周年記念事業「岡山商科大学躍進募金」について

2025年に創立60周年を迎えるにあたり、新校舎の建設、記念事業を企画し教育・研究の一層の充実を図るため「岡山商科大学躍進募金」のお願いをしております。寄付者には、税制上の優遇措置もございますので、詳細は「募金趣意書」をご覧ください。(法人・団体からのご寄付は手続きが異なりますので、募金事務局までご連絡ください)

ご寄付をくださった方のご芳名については次号以降に掲載させていただきます。



新校舎完成予想図

<お問い合わせ>

学校法人吉備学園 岡山商科大学躍進募金事業委員会事務局

〒700-0087 岡山県岡山市北区津島京町2丁目10-1

TEL.086-252-0642(代) FAX.086-255-6947 E-Mail:kouhou@po.osu.ac.jp

2023年度 岡山商科大学 入試日程

学部	試験区分	選考方法	試験日	試験会場	出願期間	合格発表日	
法学部 経済学部 経営学部	第1回AO型・自己推薦型(専願)	詳細は、本学ホームページに掲載の「総合型選抜エントリーガイド」をご覧ください。 第1回、第2回の年2回実施。	事前選考：10月1日(土) 本選考：10月22日(土)				
	第2回AO型・自己推薦型(専願)	第1回エントリー期間：9月5日(月)～9月15日(木) 第2回エントリー期間：12月12日(月)～12月22日(木)	事前選考：1月21日(土) 本選考：2月17日(金)				
法学部 経済学部 経営学部	指定校推薦(専願)	出願要件・選考方法については募集要項をご覧ください。	11月23日(水・祝) 2月24日(金)	本学・沖繩・釧路 本学・釧路	11月1日(火)～11月10日(木) 2月1日(水)～2月17日(金)	12月2日(金) 3月3日(金)	
	特別指定校推薦(専願)						
	専門能力推薦A(一般型)	前期日程(専願)	①基礎学力テスト(100点) (国語総合(現代文のみ)) ②面接・口頭試問	11月26日(土) 2月2日(木)	本学	11月1日(火)～11月10日(木) 1月4日(水)～1月17日(火)	12月2日(金) 2月10日(金)
		後期日程(専願)					
	専門能力推薦B(部活動スポーツ推薦型)	前期日程(専願)	出願要件・選考方法については募集要項をご覧ください。	11月19日(土) 2月17日(金)	本学・沖繩 本学	11月1日(火)～11月10日(木) 1月27日(金)～2月6日(月)	12月2日(金) 2月27日(月)
		後期日程(専願)					
法学部 経済学部 経営学部	一般公募型推薦	前期A日程	①基礎学力テスト(100点) (国語総合(現代文のみ)) ②調査書(20点) ③推薦書(参考程度)	11月26日(土)	本学・姫路・鳥取 松江・広島・福山 山口・徳島・高松 松山・高知	11月1日(火) ～11月15日(火)	12月2日(金)
		前期B日程	①基礎学力テスト(100点) (コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、数学Ⅰ・Aのうち1科目を試験当日会場で選択) ②調査書(20点) ③推薦書(参考程度)	11月27日(日)			
		後期日程	①基礎学力テスト(100点) (コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、国語総合(現代文のみ)、数学Ⅰ・A、小論文のうち1科目を試験当日会場で選択) ②調査書(20点) ③推薦書(参考程度)	12月17日(土)			
法学部 経済学部 経営学部	一般入試前期A日程	①選択2科目(200点)...	コミュニケーション英語Ⅱ、国語総合(現代文のみ)、世界史B、日本史B、現代社会、数学ⅠA、簿記のうち2科目を試験当日会場で選択	2月2日(木)	本学・姫路・鳥取 松江・広島・福山 山口・徳島・高松 松山・高知	1月4日(水) ～1月17日(火)	2月10日(金)
	一般入試前期B日程	①選択2科目(200点)...	コミュニケーション英語Ⅱ、国語総合(現代文のみ)、世界史B、日本史B、現代社会、数学ⅠA、簿記のうち2科目を試験当日会場で選択	2月3日(金)			
	一般入試中期日程	①選択2科目(200点)...	コミュニケーション英語Ⅱ、国語総合(現代文のみ)、世界史B、日本史B、現代社会、数学ⅠAのうち2科目を試験当日会場で選択	2月24日(金)	本学	2月1日(水) ～2月13日(月)	3月3日(金)
	一般入試後期日程	①選択2科目(200点)...	コミュニケーション英語Ⅱ、国語総合(現代文のみ)、数学ⅠA、小論文のうち2科目を試験当日会場で選択	3月10日(金)	本学	2月20日(月) ～3月3日(金)	3月17日(金)
法学部 経済学部 経営学部	大学入学共通テスト利用入試前期日程	入試教科・科目※	選考方法	試験日	出願期間	合格発表日	
	大学入学共通テスト利用入試中期日程	国語、地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から第1解答科目)、数学(数Ⅰ、数Ⅰ数A、数Ⅱ、数Ⅱ数B、簿・会、情報から1科目)、理科(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目、又は物理、化学、生物、地学から第1解答科目)、外国語(英語(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1科目)から2科目を対象とします。	個別試験は実施しません。高得点2教科を合否判定に使用します。(400点満点。大学入学共通テストでの配点が100点の科目は200点に換算します。)	個別試験は実施しません	1月4日(水)～1月20日(金) 2月1日(水)～2月17日(金) 2月20日(月)～3月8日(水)	2月17日(金) 3月3日(金) 3月17日(金)	
	大学入学共通テスト利用入試後期日程						
経済学部	大学入学共通テスト利用入試後期日程[経済学部特別入試]	入試教科・科目※	選考方法	試験日	出願期間	合格発表日	
							数学(数Ⅰ、数Ⅰ数A、数Ⅱ、数Ⅱ数B、情報)から1科目を対象とします。

*理科において「基礎」を付した科目は、2科目を選択する必要があります。

*出願はすべて Web 出願です。正式な日程等、詳細については、学生募集要項をご確認ください。

●ご意見・ご感想等は、総務企画課学報担当まで E-Mail/kouhou@po.osu.ac.jp